

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公表番号】特表2000-502145(P2000-502145A)

【公表日】平成12年2月22日(2000.2.22)

【出願番号】特願平9-522909

【国際特許分類】

C 0 9 G 1/04 (2006.01)

C 0 9 G 1/16 (2006.01)

【F I】

C 0 9 G 1/04

C 0 9 G 1/16

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月29日(2006.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】



## 手 続 補 正 書

(8,000円)



平成 18 年 5 月 29 日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示 平成 9 年特許願第 522909 号

## 2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国、53403-2236 ウィスコンシン、  
ラシン、ハウア ストリート 1525  
名 称 エス.シー.ジョンソン アンド サン,  
インコーポレーテッド



## 3. 代理 人

住 所 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内3-2-3、富士ビル602号室  
電話 (3213) 1561 (代表)  
氏 名 (6444) 弁理士 岡 部 正 夫



## 4. 補正により増加する請求項の数 5

## 5. 補正対象書類名 請求の範囲

## 6. 補正対象項目名 請求の範囲

## 7. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙のとおりに訂正する。

## 請求の範囲

1. 家具つや出し剤であって、

(1) 10～20センチストークスの粘度を有するオクタメチルシクロテトラシロキサンおよびポリジメチルシロキサンの混合物；

(2) 2,000～7,000センチストークスの粘度を有するポリジメチルシロキサンジオール；および

(3) 水

よりなることを特徴とする家具つや出し剤。

2. 家具つや出し剤であって、

(1) 10～20センチストークスの粘度を有するオクタメチルシクロテトラシロキサンおよびポリジメチルシロキサンの混合物；

(2) ジメチル、メチルビニルまたはビニルを末端基とするシロキサンおよびシリコーンの混合物を含むシリコーンガム；および

(3) 水

よりなることを特徴とする家具つや出し剤。

3. さらに、2,000～6,000センチストークスの粘度を有するポリジメチルシロキサンジオールを含む請求項2記載の家具つや出し剤。

4. 水中油形家具つや出し剤であって、

0.05～5.00%の水中油形界面活性剤；

0.01～1.00%のシリコーンガム；

0.3～5.0%の低粘度シリコーン油；

0.2～5.0%のポリジオルガノシロキサン；

0～25%の炭化水素溶媒；および

残量の水

よりなることを特徴とする水中油形家具つや出し剤。

5. さらに、つや出し剤のエーロゾル放出用噴射剤を含有する請求項4記載の家具つや出し剤。

6. 低粘度シリコーン油が、10～20センチストークスの粘度を有する請求項4記載の家具つや出し剤。

7. 低粘度シリコーン油が、ポリジメチルシロキサンとオクタメチルテトラシロキサンとの混合物である請求項4記載の家具つや出し剤。

8. シリコーンガムが、ジメチル、メチルビニルまたはビニルを末端基とするシロキサンおよびシリコーンの混合物である請求項4記載の家具つや出し剤。

9. ポリジオルガノシロキサンが、ポリジメチルシロキサンジオールである請求項4記載の家具つや出し剤。

10. ポリジオルガノシロキサンが、2,000～6,000センチストークスの粘度を有する請求項4記載の家具つや出し剤。

11. ローション家具つや出し剤であって、

0.05～5.00%の油中水形界面活性剤；

0.5～50.0%の低粘度シリコーン油；

0.01～1.00%のシリコーンガム；

0～25.0%の炭化水素溶媒；

0.02～0.1%の水中油形界面活性剤；および

残量の水

よりなることを特徴とするローション家具つや出し剤。